

セミナー1, 2ともに、定員に達したため、募集終了しました。(5/23)

一般財団法人エスノメソドロジー・会話分析振興財団 セミナー（2024年7月～8月）

以下の要領で、会話分析の基本概念とその使い方を考えるセミナーを開催します。ご関心のある方、ぜひご参加ください。

いずれも、会話分析の諸概念を正確に理解することとともに、その概念のもつ含意をいっしょに考えることができればと思っています。さらに、それをどう展開して研究につなげられるかなど、議論できればと考えています。前提的な知識等は、基本的に必要としていません。

いずれも ZOOM を用いたオンライン形式で行ないます。

テキストは『会話分析基本論集』（世界思想社）所収の論文を使います。ご準備いただくのは日本語訳でも英語原論文のでもどちらでも結構です。（日本語版は品切れですが、多くの大学図書館で eBook が利用可能です。）

英語版:

Harvey Sacks, Emanuel A. Schegloff and Gail Jefferson. (1974) "A simplest systematics for the organization of turn-taking for conversation", *Language*, 50(4), pp.696-735.

Emanuel A. Schegloff, Gail Jefferson and Harvey Sacks (1977) "The preference for self-correction in the organization of repair in conversation", *Language*, 53(2), pp.361-382.

セミナー1「会話における順番交替の組織」

■日時

・2024年7月1日から7月22日までの月曜日、午後6時から午後8時まで（全4日 [7月15日も含む]）

■受講条件

- ・全4日すべてに（ZOOMでビデオオンで）参加いただける方
- ・『会話分析基本論集』の一部を事前に読み質問リストに答えていただける方（6月に詳細を応募者に提示します）

■受講料 ※

- ・常勤にある方: 4000円
- ・常勤にない方: 1500円（学部生は500円）

■セミナーの内容（予定）

第1回 TCUという考え方について

- 第2回 TCU の非完結性の相互行為的意味 (TCU の共同構築など)
TCU の相互行為的構成
- 第3回 順番割り当て技法という考え方
- 第4回 知識と順番割り当て
標的と宛先

■応募方法

- ・2024年6月15日までに、西阪宛に、お名前、所属とともに、上の受講条件を満たしていることの確認を含むメールを下のアドレスにお送りください。
augnish@chiba-u.jp
ご連絡いただくとき、メールの件名に「EMCA 財団**順番交替**セミナー応募」の文字列を入れてください。
- ・先着20名まで受け付けさせていただきます。(6月15日時点で応募者が5名に満たない場合は、キャンセルさせていただきますので、予めご了承ください。)
- ・ご応募いただいた方には、6月15日以降、受講料の支払い方法等の詳細をお送りいたします。

セミナー2「会話における修復の組織」

■日時

- ・2024年7月29日、8月5日、8月19日、8月26日の月曜日、午後6時から午後8時まで(全4日)

■受講条件

- ・全4日すべてに(ZOOMでビデオオンで)参加いただける方
- ・『会話分析基本論集』の一部を事前に読み質問リストに答えていただける方(7月中旬に詳細を応募者に提示します)

■受講料 ※

- ・常勤にある方: 4000円
- ・常勤にない方: 1500円(学部生は500円)

■セミナーの内容(予定)

- 第1回 トラブル源と修復操作
 修復区域: 開始位置, 修復操作, フレーミング
- 第2回 開始位置: 同じ順番内, 次の順番
- 第3回 開始位置: 第三の順番, 第三の位置
- 第4回 修復開始機会空間という考え方

■応募方法

- ・2024年6月15日までに、西阪宛に、お名前、所属とともに、上の受講条件を満たしていることの確認を含むメールを下のアドレスにお送りください。
augnish@chiba-u.jp

ご連絡いただくとき、メールの件名に「EMCA 財団**修復**セミナー応募」の文字列を入れてください。

- ・先着 20 名まで受け付けさせていただきます。(6 月 15 日時点で応募者が 5 名に満たない場合は、キャンセルさせていただきますので、予めご了承ください。)
- ・ご応募いただいた方には、6 月 15 日以降、受講料の支払い方法等の詳細をお送りいたします。

※ 受講料は、決済の手数料を引いた残りの半分を、私が講師料（準備のための費用等）としていただき、半分は、助成のための基金に組み込みます。